

## 全員協議会 会議録（要点筆記）

午後 1時30分 開会

午後 2時35分 閉会

場所 : 全員協議会室

### 【上程議案の補足説明】

#### 1. 専決処分 の 報告 について（除草作業中の事故の和解及び損害賠償の額の決定）

岩橋平武教育部長：資料に基づき説明

鈴木幸彦議員：私は一般質問の場でこのこと（除草作業中等の事故）について申し上げ、「（事故を）二度と起こさないよう注意徹底する」と答弁されたにも関わらず、今、「対策が取れていなかった」とご説明がありました。「徹底された」のではなかったのですか。

岩橋平武教育部長：今回の草刈り機が「教材園」ということで、横に振るタイプのものとは違い、芝刈り機のように「這う」タイプのものでした。市の教育委員会では3年ほど前にも、横に振るタイプの草刈り機で飛び石があり、二度と同様の事故を起こさないように注意喚起を行っていましたが、今回タイプの異なる草刈り機であったため、安全対策に不十分な点があったと深く反省しています。今回のタイプの草刈り機の場合も隣に車両等を置くことがないように注意喚起を行うとともに、草刈り機の扱いにおいても十分注意するよう注意喚起を行っていきます。

加藤美幸議員：今回、実際に草を刈っていた場所から車までの距離はどの程度ありましたか。

岩橋平武教育部長：1メートル足らずです。学校の敷地内に職員用駐車場として使用できる土地面積が非常に少ないため、今回の教材園の真横に職員用駐車場がありました。事故以降は教材園の草刈りを行う場合は、駐車場に車を止めることのないようにしています。

加藤美幸議員：学校敷地内での事故ということで、今回は（飛び石が）当たったのが車両でしたが、児童・生徒、人に当たる可能性もあり心配です。その点について、再発防止の徹底や、他校への注意喚起はどのようですか。

岩橋平武教育部長：草刈り時の指導については市内の学校用務員に対しては行っていますが、教員に対しては行っていませんので、校長会、教頭会等で次回の会で行います。

加藤美幸議員：周囲への安全確保の他、実施している本人の安全確保について、ゴーグル等の装着など、徹底されていますか。

岩橋平武教育部長：改めて徹底します。

#### 2. 半田土地開発公社の経営状況について

山本卓美総務部長：資料に基づき説明

中川健一議員：「補償費」の具体的な内容を教えてください。

山本卓美総務部長：用地買収を行う土地に建物が建っていた場合、その建物の移

転補償です。

中川健一議員：そうしますと、元々の土地の値段は、事業費から補償費を差し引いた1千380万4千円ですが、その建物の補償のために8千869万6千円、土地の約5倍の金額を支払っているという理解でよろしいですか。

山本卓美総務部長：そうではありません。土地は計画的に買い戻しを行っているので、この額がイコールとはなりません。今回は移転補償費と国の補助の範囲内で買い戻している土地費用です。

中川健一議員：土地区画整理事業などは、土地そのものより移転補償などその土地上にある建物に大きな費用がかかることが問題であると感じています。その点を明らかにしたいので、土地にいくらかかっているのかを教えてください。

山本卓美総務部長：まず、8千869万6千円は1件にかかる移転補償費ではありません。全体の計画にかかる資料を持ち合わせておりませんので後ほど改めて回答します。

### 3. 新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施について（令和3年5月追加分）

竹部益世健康子ども部長：資料に基づき説明

鈴木健一議員：16回線で8名ですと1人2回線を受けるという理解でよろしいですか。

竹部益世健康子ども部長：1人1回線です。資料内（1）はコールセンターで16回線（市役所外）、（2）は実施本部対応要員を3名増員し8名とするもので、異なるものです。

坂井美穂議員：コールセンターを8回線から16回線に増やすということですが、連休中にも市民から電話が繋がらないなどの話があり、私もWEB申込を代行するなど支援していました。今、ホームページを見ますと4月30日時点で、残りのワクチン数が9,705回分とあり、約60%の予約が済んでいる状況です。今の問題は、電話しか予約手段を持たない方が、電話が繋がらない状況で止まっていることで、コールセンターの回線を16回線に倍増することは理解できます。

試算しますと8名の方が1回5分、休憩なしで電話を受け続けたとしても1日760人ぐらいの方が予約できることとなり、恐らく10日以上経たないと、電話が繋がらないのではないかと思います。16回線にすることで、電話しか予約手段のない方が何日程度で予約ができることとなると見込んでいますか。

竹部益世健康子ども部長：非常に繋がりにくい状況になっており申し訳ありません。しかし、（回線を）倍増しても、まだまだ混み合うことも予想されます。この後、65歳以上へのクーポン送付が始まれば同様のことが起こります。お身内の方のご支援もいただきながら、でき得る限りWEBでの予約受付を進め、コールセンターの回線数を限りなく増やすことはできませんので、平日の日中（9時から17時）の倍増（8回線から16回線）、新たに、平日の時間外で受付（4回線で17時から19時）、土日祝日の日中（9時から17時）の受付の実施によりできる限り、繋がりをよくしたい、と考えています。いつまでに、ということはお答えできませんが、75歳以上の方の予約枠は確保できていますので、繋がりが次第、予約ができていくものと考えています。

坂井美穂議員：一番の懸念として、次の段階、65歳以上の方へのクーポン送付

が始まりますと、（電話での予約手段しか持たない方たちが）電話が繋がらないまま予約できず、65歳以上のWEB申込で予約が埋まってしまうことです。その点について、対応策は考えていますか。

竹部益世健康子ども部長：まず、75歳以上の方の予約状況、2回分の予約ができてきているか、ということはしっかりと把握をしていきます。（75歳以上の方たちが）概ね予約ができたという段階で、次の年齢層へのクーポン送付を進めます。その他、電話しか手段を持たない方のために、電話用に予約枠を一時的に確保しています。

伊藤正興議員：回線の増強の説明でしたが、19時から翌朝9時まででは受付しない、「遊んでいる状況」にあるわけです。と言うことであれば、現在のこの緊急事態に24時間で対応をするなど、強い姿勢で臨むと期待していましたが、されないということで、今の状況をどのように考えていますか。

竹部益世健康子ども部長：現在は平日9時から17時の8回線で受付を行っていますが、同時間帯の回線を倍増するとともに、新たに平日時間外19時までの4回線と土日祝日の9時から17時までの4回線を実施します。回線増に伴い必要となるオペレーターの増員も行います。24時間対応を行うにはオペレーターを24時間つける必要があるため、現実的な対応として今回の時間とさせていただいたものです。

伊藤正興議員：民間であれば、施設を増強したら稼働率をあげようとしています。今回は施設を増強し、（平日時間外、土日祝日に日中等）一定の時間はオペレーターも付け対応します、とのことですが、実際には非対応時間、遊んでいる時間が生じています。実稼働率、実際のコストパフォーマンスを考えて運用していくべきではありませんか。この場で回答ができるものではないと思いますので、その点を視野に入れ、考えていただきたいと思います。外部のコールセンターということですが、私であれば、予約を受けて、入力することなので、市役所のどこにかけても良いと市民に皆さんに呼びかけて行けば良いと考えます。今回に関しては緊急事態として、もう少し柔軟な対応をぜひご検討いただきたいと思いますがいかがでしょうか。

竹部益世健康子ども部長：（ワクチンの）予約システムについては、全国一律のシステムを使用しています。他の自治体においても（半田市と）同じように専用のオペレーターを配置し、予約を受け付けることとしていますので、現状の予約方法とさせていただきます。予約受付以外のご相談やお問い合わせもありますので、役割を分け、対応をしていきたいと考えています。

加藤美幸議員：電話が繋がらない方で、高齢の方なのですが、（市役所の）4階に行けば予約を受け付けてくれるという情報が流れていて、実際にWEB予約をそこで取られた方がいるとのことですが実際はどのようなのですか。

竹部益世健康子ども部長：スマートフォンをお持ちの方で、予約の操作手順がわからない方がいらっしゃいます。ご家族の支援が受けられない方が市役所にご相談に来ていただき、クーポンをお持ちの場合は、職員が入力にかかる支援を行っています。ただ、大々的にPRをしていまいますと、他の自治体でもありましたが、その場所が「密」となる危険性もありますので、可能な限り、ご家族などの

ご支援をいただき、ご宅等で申込みをしていただきたいと思います。

加藤美幸議員：確認ですが、3階の相談窓口にお越しいただいた方が、（スマートフォンでの）やり方がわからないという場合は4階で支援を受けられるということですか。

竹部益世健康子ども部長：WEBの予約支援会場を常設しているものではありませんので、3階の実施本部に来ていただいた方に支援を行っています。WEB予約支援は空いている場所で行いますので、まずは3階の実施本部を案内いただきたいと思います。

中川健一議員：予約枠が約23,900、予約残が約9,705、ということですが、やり方にかなり問題があるのではないかと思います。今回の8回線増で予約が埋まると考えていますか。その見込はできていますか。

竹部益世健康子ども部長：はい。今回の増設で予約が取りやすくなると思いますので、予約は埋まると考えています。

中川健一議員：この増設で、1日何件くらい電話が受けられて等の試算ができていますということですか。一時的に繋がらないことがあったとしても、今のペースで十分枠を埋めていける計算ができていますのか、を教えてください。

竹部益世健康子ども部長：詳細に計算はできていません。予約は電話だけではなくWEBでの受付を行っています。現在の電話が繋がらない状況を改善するためにコールセンターにおける回線の倍増、時間外や土日祝日での回線の新設を行い、まずは「拡大する」という視点で設計しています。

中川健一：恐らく、課題の立て方が間違っていると思います。最優先すべきことは、今届いているワクチンをできるだけ早くたくさんの人に打ってもらうことです。その目標に対して最大限の取組みをすべきであり、試算もなく、とりあえず回線を増やしたことでどれだけ問題が解決できるのでしょうか。先ほど夜間の対応の意見がありましたが、土日祝日について、市内でアルバイトを募り対応するなど、これはウイルスとの戦争です。電話での予約受付は難しい仕事ではないので、委託先だけでなく、市内で定年退職をされた方や市役所のOBなどにアルバイトとして来てもらうことも可能だと思います。24時間対応や土日16回線にするなど、本気でやろうとすればいくらでもできると思いますが、なぜ、やろうとしないのですか。

竹部益世健康子ども部長：予約は日にちの早いところから順に埋めていきますので、空いている状態で次に行くということはありません。設定した予約枠に案内するように運用していきますので、ワクチンをムダにすることはありません。

中川健一議員：そういった話ではなく、29,000回の予約の枠をできるだけ早く埋めなければいけない、それが最優先です。電話が繋がらないことも一時的には仕方ないとは思いますが、早く枠が埋まり、多くの高齢の方に（ワクチンを）打っていただく段取りをつけることが重要です。そこがきちんと計算がされていない状況ですので、そこをきちんとやっていただくべきだと思います。人手が足りないなら、費用を計上し、人を増やす。やる人がいなければ、市民からやってくれる人を募集すればいいと思います。ヨーロッパではワクチン接種もボランティアが行っています。半田市も電話対応くらいは、ボランティアでなくても市民に

時給千円とかで募ってやればいいじゃないですか。人手が足りない。ワクチンを打つまでの時間も足りない。なぜ、他にやれることをやろうとしないのですか。  
竹部益世健康子ども部長：今回、5月の途中からですが、電話回線を増設して予約枠をきちんと埋めるようにしていきます。

### 【報告案件】

#### 1. 令和3年度パブリックコメント手続実施予定について

山田宰企画部長：資料に基づき説明

質疑無し

#### 2. 新型コロナウイルス感染症の影響による「国民健康保険税」及び「介護保険料」の減免延長について

新村隆福祉部長：資料に基づき説明

質疑無し

#### 3. JR半田駅周辺のまちづくりについて

大山仁志建設部長：資料に基づき説明した後、完成イメージ動画視聴

伊藤正興議員：資料の図でSLから東側に向かって伸びている線は何を示しているのですか。

大山仁志建設部長：現時点の案にはなりますが、線路を道の方に伸ばしてSLを動かせるようにしていきたいと考えています。

伊藤正興議員：蒸気機関車保存会としては動態保存を目指しているということで、当然必要なものであると思いますが、資料と（視聴した）今の映像と資料内のイラストにはその部分がありませんがどうなっていますか。

大山仁志建設部長：（イラスト、映像の）作成している時点での状況があり、反映されていない箇所がありますが、現時点では、可能であれば、（図の箇所に）線路を敷設したいと考えています。

伊藤正興議員：そう考えているのであれば、映像も修正をしていただきたいと思います。また、蒸気機関車について、今の映像にもありましたが「野ざらし」で展示をされるということでしょうか。現状でも「屋根付き」で展示をされていますし、保存会としてはきちんとした風雨を凌げる場所を確保してほしいということで、この図のSLの後方高架橋の隣にある屋根付きの場所に収納することで市街地整備課長とも話をしていると認識しています。（資料等には）その辺りが全く反映されていませんがどうなっていますか。

大山仁志建設部長：その辺りの細かい部分については、今後協議を行い決めていきますが、SLについては、長期保存ということで、私としては屋根を付けたいと考えています。

伊藤正興議員：細かな部分はまだ多数、相違点がありますので、保存会と合意した内容、話した内容はきちんとやっていただきたいと思いますし、これ（イラストや映像等）がこのまま表（おもて）を一人歩きをしてしまうと、このまま進んでしまうことがありますので、現時点での多数の相違点をきちんと是正をして正しいものをまた提示していただきたいと思いますがいかがですか。

大山仁志建設部長：先ほど説明の中でも言いましたが、「今、現時点での」もの

であり、今後、変更が生じることを説明の都度、話をしていきますし、保存会とも話し合っていきます。

伊藤正興議員：この件は市街地整備課だけではなく、3月19日には、生涯学習課、博物館の3課において保存会と合わせて話をした内容ですので、しっかり3課で連携していただいて、この部分についてはやっていただきたいと思いますので重ねてお願いします。

中川健一議員：私はこの高架化事業には反対の立場を示していますし、基本的には反対ですが、事業が実際に動き出していますのでやるのが前提として何点かについてお尋ねします。「公共施設整備構想」をやると決めたのは誰ですか。

大山仁志建設部長：冒頭でも少しご説明しましたが、まちづくり検討会で議論を進めてきたのと、有識者や地元関係者の方からご意見をいただきながら決定したものです。

中川健一議員：市民の意見を伺いながら、「市」が決定したという理解でよろしいですか。

大山仁志建設部長：はい。ご意見をいただきながら、最終的には市で決定したものです。

中川健一議員：現時点で事業費とこの事業にかかる税金はいくらですか。

大山仁志建設部長：この「えきひろ」（JR半田駅周辺）に特化した費用ということであれば、算出していません。

中川健一議員：そうであれば、この事業は、かかる費用を全く考えずに進めている事業ということですか。通常、事業を計画する場合には、費用とその財源を見込んで計画するものだと思いますがいかがですか。

大山仁志建設部長：区画整理事業で75億という概算金額が出されており、その中でこの事業を実施します。

中川健一議員：わかりづらいのですが、最大75億円の予算でやる事業という理解でよろしいですか。

大山仁志建設部長：事業費については、随時見直しを行っていくこととしています。

中川健一議員：現時点でこの公共施設整備構想についてはかかる事業費の見通しが全くない、と言う理解でよろしいですね。

大山仁志建設部長：現時点でそこまでの試算は行っていません。

中川健一議員：それでは、「まちづくり方針・行動指針」について、方針3、4と行動方針は非常に共感できる内容ですが、方針1と2がわかりづらいので教えてください。例えば方針2の「上品さ雑然さ」や「便利さと静けさ」な相反することがこの限られた範囲で両立し得るものであるのか、矛盾を感じるのですがどのように考えていますか。

大山仁志建設部長：「上品さと雑然さ」については表通りで上品な場所があり、裏に入るとちょっと（お酒を）飲める場所があるなど、「便利さと静けさ」については、駅前には便利ですが、住宅街には静けさがあるなど、いろいろな要素が組み合わさっている地域であることを表現しています。

中川健一議員：それでは、方針1に「新しいものに果敢に挑んできた先人の心意気

を継承するまちづくり」とあるが、具体的にどのようなことを言っていて、それを継承するまちづくりとはどのようなものであるのか教えてください。

大山仁志建設部長：先ほども少し説明しましたことですが、古くから醸造が盛んであった、半田の「顔」の部分、そういった文化を継承した「街並み」を創っていききたいというイメージです。

中川健一議員：ここでは醸造の黒壁、黒い屋根など「街並み」について表現している、ということですね、それであれば理解できますが、その理解でよろしいですか。

大山仁志建設部長：街並みももちろんそうなのですが、その他にも先人たちが「カブトビール」「酢」などいろいろ新しいことにチャレンジしてきた心意気をこの地域に持っていただきたいと、さまざまなことにチャレンジした新しいまちを創っていききたい、という意味です。

中川健一議員：具体的にどういったことにチャレンジしたら、（構想で）期待するまちになると考えていますか。過去の歴史からまちなみのイメージは理解できるが、それを継承するまちづくり、というのが想像できない。

大山仁志建設部長：繰り返しになりますが、「新しいことに挑戦していく心意気でこのまちを創っていく」という意味です。

#### 4. 半田市耐震改修促進計画（案）に係るパブリックコメント手続の実施について

大山仁志建設部長：資料に基づき説明

質疑無し

午後 2時35分 閉会